



社会新報 (岡山県連合版)

2016年11月1日
(毎月1日発行)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒100-8909 東京都千代田区永田町2-4-3
Tel.03-3592-7515 1部180円月700円年160

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: shamin okayama@fancy.ocn.ne.jp

メディア2題から思うこと

沖縄をめぐるニュースは、中国船の報道は溢れても国民と直結する基地問題など全国紙に載らないことが多い。それでも、高江ヘリパッド建設反対行動に参加した人へ機動隊員が発した「土人」発言は、政府も無視できなかった。問題を沖縄に閉じ込めてきた、これまでのやり方がほころび始めている。人々の心に根ざした人間らしさの復権の戦いといえようか。基地と原発と形は違いますが根っこはつながっている。福島と経緯を境に、鹿児島、新潟での脱原発知事の誕生に見られるように、国民の意識がつながり始めている。

つぎに、資本主義という言葉さえメディアで使うことが少ないなかで、NHKが資本主義の危機を取り上げた番組(10/16)にも関心を持って見た。要旨は「資本主義の根源に関わる異変が起きている。資本主義の危機だ。人類が初めて見えない成長の壁に突き当たっている」と。アベノミクスの失敗とも通じる切り口で、資本主義の桎梏ということか。大企業の不正もその現われだとか、「神の見えざる手」(アダム・スミス)は間違いだ、と言っているのに興味を引かれた。「政府が右というのに左と放送できない」といった人もいたが、私たちも自分の肩に頭をのせて考えることが大切だと教えられた。岡山:野崎

党再生の衆院選に

1日、岡山市で第10回総会を開催、中国5県の代表・岡山の党員など45名が参加。総会



衆院選へ意思統一と構えを 中国ブロック総会・学習会

は岡山の矢吹さんを議長に、足立議長は「参院選でブロック候補を出せなかった弱さも出し合い、皆んなが踏ん張った結果を前向きに総括し、衆院総選挙ではキチツと立てる構えを意思統一しよう」とあいさつ。全国連合から中川組織局長、大瀬事務局長が「次の展望を持った戦い」につな

生活者目線の開かれた信頼の県政に期待

岡山知事選と併せて行なわれた県議補選(北区・加賀郡選挙区)で、大塚愛さん(新)が当選。県連合、1・2区党員会議は全力での応援を決め、選挙活動を頑張った1さんに感想を語ってもらった。

奥津先生が大塚愛さんと一緒に来られ「県議補選に出る」

げようと、総括と方針を提起。総会では、新議長に山口県連合代表の佐々木明美さん(県議)を選出、新年にも予想される総選挙態勢を固め、勝利しようとする。後半は、土曜反戦の街頭宣伝を終えて地元女性党員の仲間も参加し、伊藤剛氏(吉川)はじめ衆議院議員政策秘書)を講師に「アベノミクスについて」をテーマに学習を深めた。(学習会報告別途)



選挙最終日22日夕、岡山駅前で訴える大塚候補

と挨拶。もう一人の予定者も女性で、愛さんには何としても頑張ってもらいたい、Yさんと北区、吉備中央町に居住の党員、支持者への話しに回った。また、何かできることをと事務所でハガキ整理や、選挙に入ってからお願いの電話をした。ある人は「家族でWさん(相手候補)に入れたよ」「えっ、それは残念」、



「女性候補者で勘違いしたかも」と、これまで声かけていた人にも確認の電話も入れた。先の参院選で応援をいただいた福島みずほの徹文が掲げられているのを見て元気も倍加。結果発表が遅く心配したが、翌日早朝のニュースに、一人「やっただあ」と声を上げた。周りからも「久しぶりに勝った選挙でよかった」と声をかけられる(談) 文責写真野崎

党県連合の主な行動

- 10/1 党中国ブロック総会・学習会(岡山)
- 10/3 ストップ戦争法・総がかり行動(駅前)
- 10/6 岡山県知事選告示
- 10/9 県連合幹事会
- 10/13~14 党書記局交流会(島根)
- 10/14 県議補選告示
- 10/16 さよなら原発映画会
- 10/21 鳥取地震で鳥取県連合と情報交換
- 10/23 県知事選・県議補選投票日
- 10/24 1・2区党員会議
- 10/25 県連合常任幹事会(総選挙について等)
- 10/26 県連合定例街宣 18:00岡山
- 11/3 憲法のつどい・講演会
- 11/26 さよなら原発総会・講演会

「新報」読者会
11月8日(第2火)18時
弓之町「時事問題懇話会」
11月18日(第3金)18時
※聞きたい・話したい人歓迎
いずれも岡山社会文化会館

定例学習・読者会

年々早や11月、一日の仕事を終えて家路につく頃は、街通りはすでに薄暗い。この時間帯が車の運転にとつて一番危険な。ただし、危ないのは車でなく、自転車や人にとつてである。そのうしろ道路横断中の事故で90%がロービームだったことから、車のライトをハイビームにするという。これに照らされると人は視界を失いかねない。さらに危険なのはハンドルを握る自転車だ。「歩行者を守るのは低速運転(朝日10/9)」と投稿者の言うとおりだ。危険な原因を取り違えていないか。横断歩道の歩行者に9割の車が止まらない。方向指示器を出さないのは一番が岡山という不名誉な評価も頂く。赤信号でも時間差を見越して進入など当たり前、は誰もが経験している。▼他者への思いやりを忘れた自分に都合のよい「慣れ」は次の大きな事態を準備している。道も大きな曲がり気付かない。これは交通事情だけに終わらない。日本の曲がり角に立ち、さて選択は? (の



年々早や11月、一日の仕事を終えて家路につく頃は、街通りはすでに薄暗い。この時間帯が車の運転にとつて一番危険な。ただし、危ないのは車でなく、自転車や人にとつてである。そのうしろ道路横断中の事故で90%がロービームだったことから、車のライトをハイビームにするという。これに照らされると人は視界を失いかねない。さらに危険なのはハンドルを握る自転車だ。「歩行者を守るのは低速運転(朝日10/9)」と投稿者の言うとおりだ。危険な原因を取り違えていないか。横断歩道の歩行者に9割の車が止まらない。方向指示器を出さないのは一番が岡山という不名誉な評価も頂く。赤信号でも時間差を見越して進入など当たり前、は誰もが経験している。▼他者への思いやりを忘れた自分に都合のよい「慣れ」は次の大きな事態を準備している。道も大きな曲がり気付かない。これは交通事情だけに終わらない。日本の曲がり角に立ち、さて選択は? (の